

令和7年度 膳所小学校 学校評価書

3:よくできた 2:できた 1:あまりできていない 0:まったくできていない

区分	評価の観点	具体的努力項目	自己評価	学校運営協議会 評価	
1	主体的・対話的で深い学び	学級目標を設定し、定期的に振り返ることにより、つながり・居心地・雰囲気を実感できる学級経営に努めます。	2.3	2.7	
		支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	子どもたちの日頃の様子を観察し、学級の課題の早期発見、早期対応に努めます。		2.4
			学年での担任教師間の連絡を密にし、連携協力した指導に努めます。		2.5
	協働する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善(ICTの活用含む)	分かる楽しさ、できる喜びを実感できる授業を工夫します。	2.4	2.7	
			「めあて」や「ふり返り」などの授業のポイントを意識した授業改善に取り組みます。		2.3
			子どもたちが協力し合って楽しい学校生活を送れることを意識した学級での活動を広げます。		2.4
主体的・対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会	研究授業等を通して、一人ひとりの学びを保障するための教師同士の「学び合い」に努めます。	2.4	2.6		
		定例研究授業の他に、自主的な公開授業および研修会を積極的に進めます。		2.2	
2	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	全体計画に基づき、自尊感情や自他を認め合う心の育成などの人権教育の視点に立った教育実践を行います。	2.5	2.6	
			「膳所小四つの約束」(気持ちのよい挨拶・一生懸命掃除・しっかり嘘・きまりを守る)の徹底に努めます。		2.4
	ものごとを様々な視点からとらえ考えさせる道徳科の授業・評価に関する研究	道徳的な価値の自覚が深まるよう、考える場を大切に授業を工夫します。	2.5	2.7	
			道徳の授業について自主的な研究授業等を行い、教師の指導力向上に努めます。		2.3
保護者等への道徳科の授業公開	道徳の授業の内容や子どもの学びの様子を通信やあゆみ等で伝えます。	2.2	2.5		
3	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	体を動かす楽しさ、できる喜びを実感できる授業の工夫に取り組みます。	2.3	2.8	
			多少の困難に負けず、繰り返し挑戦し、やり遂げる充実感にひたれる指導に努めます。		2.2
	体力づくりを推進する運動実践	運動会、縄跳び大会などの行事を通して、目標を持って体力づくりの推進に努めます。	2.4	2.8	
			進んで運動に親しむ態度を育てるため、備品整備など進んで運動できる環境の工夫改善に努めます。		2.1
	生涯にわたって健康を保持増進し、進んで体を動かそうとする意欲の育成	リレー大会、ドッジボール大会など、楽しく運動できるように委員会活動と連携した活動を行います。	2.0	2.5	
			自己の記録の変容や努力が視覚化できるカードを準備するなど、意欲をもって取り組めるように努めます。		2.2
4	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	個別、小集団、一斉等、学習内容に合わせて活動の形態を工夫し、学力向上に努めます。	2.3	2.5	
			家庭と連携協力して学習習慣の定着を図ります。		2.2
	教職員の指導力、情報活用能力及び学校全体の組織的な教育力向上	「学び合い育ち合う教師集団」を目指し、校内研究授業や研究会、研修会を積極的に開催します。	2.3	2.5	
			OJTを推進し、学校全体の組織的な教育力向上を図ります。		2.2
	働き方改革の取組と教育活動の質の改善	自らのワーク・ライフ・バランスのために、できるだけ勤務時間内に工夫して仕事を行います。	1.7	2.1	
			学年や担任外の教師と連携して、必要な児童支援を効率的かつ迅速に行います。		2.4
5	家庭・地域との連携・協働	子育てや家庭教育に対する保護者への積極的な支援	保護者を対象としたスクールカウンセラーによる教育相談会の周知と積極的な活用を呼びかけます。	2.4	2.6
			必要に応じて、子育て支援にかかる専門機関を紹介する等、関係機関との積極的な連携に努めます。	2.4	
	育ちと学びを支える連携	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	学校行事の公開を含め、原則月1回の参観や学校公開または懇談会の実施に努めます。	2.3	2.5
			学校ホームページの積極的な更新による情報発信に努めます。	1.9	
	防災教育・感染症対策等の推進を含む、地域の実態に応じた安心・安全な学校づくり	防災・防犯・感染症防止などについて学年に応じて指導して、児童の実践力を高めます。	2.2	2.7	
			学校メール配信や地域及び関係機関との連携して、防災・防犯・感染症防止等の情報の迅速な伝達に努めます。		2.2
保幼小中学校園の連携	新任教員の幼稚園研修、秋祭りへの招待等、幼稚園・保育園との連携を深められるよう努めます。	2.2	2.5		
		進学を控えた6年生への中学校教員の出前授業等を相手校と連携しつつ実施します。		2.2	
校種間の授業公開や合同研修会	他校園で実施される研究授業や校内研修会の積極的な参加に努めます。	2.1	2.3		
	保幼小中の接続期の教育課程の編成等、円滑な接続を図る校種間のカリキュラム研究	保幼小中の学びの連続性を視点にした情報交換を積極的に行い、カリキュラムの改善に努めます。		2.2	
6	生徒指導体制の充実	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導	様々な問題行動防止のため、日常的な予防指導や早期発見・早期対応に全校体制で取り組みます	2.5	2.7
			心のサインを見逃さないため、学期ごとのアンケートや個別の教育相談を実施します。	2.6	
	組織的体制の充実	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進	スクールカウンセラーとの密接な連携を図ります。	2.6	2.8
			内線やトランシーバーを活用しながら報告・連絡・相談を密にし、教育相談と生徒指導の連携・運動に努めます。	2.4	
	特別支援教育の充実	家庭・地域・関係機関との連携による指導	学校だよりや保健・生徒指導だよりなどを通して、家庭と連携協力して基本的な生活習慣の定着を図ります。	2.4	2.7
		個別の支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	学校支援員、学習アシスタント等を適切に配置するとともに、個別の指導計画に基づく指導に努めます。	2.4	
組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	関係機関と連携した相談体制の充実	特別支援、生徒指導、教育相談、いじめ対策の各担当が密に連携し、多面的な支援に努めます。	2.5	2.6	
		必要な児童については、関係機関職員と合同で支援方針等を相談するケース検討会議を開催します。	2.4		
		各種の巡回相談や通級指導教室など、児童の支援に役立つ機関の積極的活用を努めます。	2.4	2.6	
学校満足度		児童の学校満足度 (児童用アンケート:「学校は楽しい」の平均値)	2.36		

児童アンケートのすべての評価の平均値 (3点満点、小数第2位まで)	2.33
保護者アンケートのすべての評価の平均値 (3点満点、小数第2位まで)	2.30